

# 教育相談の方法

## ○ 教育相談で用いるカウンセリング技法

### 受 容

批評的、批判的な言葉をひかえて、まず、児童生徒の気持ちがあるがままに受け入れ、心から聴くように努力すること。

受験先で悩んでいるんです。



そう、うん、なるほど

そうか受験先で悩んでいるんだね。

### 繰り返し

児童生徒の述べている言葉から、内容を深めたいと思われる言葉をそのまま繰り返すこと。

## ○ 教育相談で用いるカウンセリング技法

### 感情の明確化

児童生徒の微妙な感情をありのままに、それを短く的確な言葉で返す手法。

そうか受験先で悩んでいるんだね。

とても不安なんだね。

要するに、将来就きたい職業が定まらないので、進学する学科を決められないということかな？



そうなんです。

私の気持ちを分かってくれた！

## ○ 教育相談で用いるカウンセリング技法

### 質問・リード

- ① ハイ、イエエで答えにくいように聴く（一問一答形式にしない）。
- ② 児童生徒の話していることに関係あることを聴く（話の腰を折らない）。
- ③ 教師の都合や興味本位の質問をしない。
- ④ 児童生徒のもっている問題を引き出すように聴く。

このように考える私がおかしいのでしょうか？



そのように考える私がおかしいのだろうか、と思うことがあるのですか？

### 沈黙

何をどう言っているか考えている沈黙、言っているかどうか迷っている沈黙、自分の心の中を整理している沈黙、話が一段落してホッとしている沈黙、などいろいろあることから、そのときの沈黙のもつ意味をじっくり考え、時間をとることが大切。